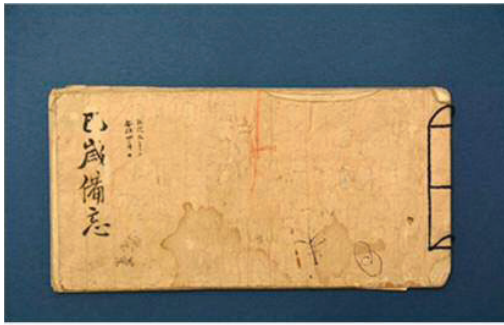


本庄市塙保己一記念館にある資料紹介

「巳歳備忘」と題した小冊子 (文・野口 泰宣)

今回紹介する史料は「巳歳備忘」と題された小冊子です。形は横型の小さな帳面で、表題から見ると忘れないように書き留めたメモ帳のようなものです。内容を見ると前半は江戸の番町から中山道を通って新町までの記載があり、それぞれの宿ごとに距離が書かれています。保木野村に行くには新町からは一里半、本庄宿からも行けるとあって問屋に聞くべしとあります。この時には実際には本庄宿からではなく深谷宿から中山道を外れて保木野村に行ったようです。深谷宿から保木野村までの行程を読みやすいように書き出してみると「深谷より南の脇道に入り、岡新田より元榛沢に至る。小山川を渡って、宿榛沢を過ぎる。八幡山の先、城山の前を過ぎ、保木野村に至る」とあります。この史料の後半は、保木野村や周辺の村々の有力者の名前が多く書かれています。この史料はいつ書かれたのかはわかりませんが、保木野村の生家の当主が弥七であることや、史料の表紙に「弘化二年カ・安政四年カ」(いずれも巳年)と追記されていることから、保己一の子の次郎忠宝ただとみが書いたのではないかと思われます。保己一は江戸へ出てからは郷里の保木野村に帰ったという記録は残っていませんが、「上京日記」の一つに、もしかしたら保木野に寄ったのではないかと思われる部分が見られますが、子の次郎も父の生家を尋ねたことがあったのでしょうか。



今年度も塙先生顕彰会の会員として継続してご協力いただけますようお願い申し上げます。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会では、塙保己一先生の遺徳を顕彰し、幅広い啓発活動を行っています。会員のみなさまの日頃のご協力に感謝申し上げます。

塙先生顕彰推進のため今年度も会費の納入につきまして、よろしく願いいたします。

みなさまのご協力をなにとぞよろしくお願いいたします。

年会費 個人会員 一口 千円、賛助会員(団体) 一口 一万円

入会と会費納入の受付場所 本庄市役所4階生涯学習課と本庄市児玉文化会館(セルディ)、アスパアこだま内の児玉公民館で受け付けています。

※ 郵便振替でもお申込みいただけます(ご希望の際には、下記へご連絡ください)。



発行 総検校塙保己一先生遺徳顕彰会

事務局 本庄市教育委員会 生涯学習課 本庄市児玉文化会館(セルディ)内

所在地 367-0216 埼玉県本庄市児玉町金屋728-2

電話 0495-72-8851 FAX 0495-72-8854

※点訳ボランティアグループ「ほきの六点会」の皆様により会報誌の点字翻訳版を作成していただきました。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

そうけんぎょう はなわ ほきいち せんせい いとくけんしょうかい

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会 会報誌

第28号

平成29年5月発行



第10回塙保己一賞の様子並びに市民による群読劇「塙保己一物語」公演の様子

ごあいさつ

風かおる五月、さわやかな季節になりました。会員のみなさまもご健勝のことと拝察いたします。会員のみなさまには日ごろ、顕彰会へのご支援とご協力に感謝申し上げます。

毎年セルディを会場として開催される、埼玉県主催・本庄市共催の「塙保己一賞」も第10回という節目を迎え、例年の賞に加えて特別賞が選定されました。

また、市民による手づくり「群読劇塙保己一物語」が昨年11月にセルディで開催され、顕彰会としても後援をさせていただき盛況な催しとなりました。

これからも各種啓発事業等を行うために議論を重ねて、塙保己一先生の遺徳と業績の顕彰、その精神を国内外に広く伝えて参りたいと考えておりますので、引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会

会長 吉田信解

平成29年度 顕彰会 総会を開催します。

ぜひご参加ください。



昨年の総会の様子

日 時 平成29年5月27日(土)
午後1時30分 受付開始
午後2時 開式

会 場 セルディ ホール

会 容 前年度事業報告・決算報告
今年度事業計画・予算審議

記念講演 根岸 久氏(顕彰会事業部会委員、
本庄市観光協会副会長)

演 題 「群読劇・塙保己一物語よもやま話」

※ 当日、会場では保木野地区で設立された『保己一講』(金屋小学校所蔵)の資料集を配布する予定です。ぜひお越しください。



児玉町八幡山地内、国道254号線沿い交差点付近に設置されていた塙保己一先生啓発看板が強風で破損したため修理していただきました。



二十八年度総会

五月二十一日、児玉文化会館セルディを会場に平成二十八年度顕彰会総会を開催しました。当日は、会の運営についての審議、承認されました。

顕彰祭

五月二十一日、児玉文化会館セルディを会場に平成二十八年度顕彰会総会を開催しました。当日は、会の運営についての審議、承認されました。

塙先生の命日である九月十二日にセルディで開催されました。遺徳顕彰祭では参加者全員が塙先生の遺影に菊の花を捧げ遺徳をしのびました。

いる人や団体など4名が表彰されました。表彰式後には、奨励賞を受賞した踊正太郎氏。盲目の津軽三味線演奏者のコンサートが行われ、来場者は、その優雅な音色に聴き入っていました。

塙保己一賞

十二月二十日、セルディで行われた埼玉県主催・本庄市共催による塙保己一賞への協力を行いました。当日は、障害がありながら社会的に顕著な活動をして



市長から副賞を授与

平成二十八年度顕彰会事業報告

塙保己一先生の讃歌(その一)

文・顕彰会事業委員 根岸久

郷土の偉人である、塙保己一先生を讃えた歌が数曲作られています。
制作年代は不詳ですが、その讃歌を紹介します。

塙先生の霊に捧ぐ

「塙 保己一」

一、じぶんのひじり筆の末と生まれて武蔵野のゆかりの色は見分けねど里の名を得る保木野一

二、目こそ見えねわれも世に生まれしつとめ果さんと願いに勇みはるばると杖をたよりに二十余里

三、年は十三 目は見えぬこどもなれども大江戸に上りて雨富検校の門にようよう弟子入りぬ

四、琴よ あんまよ はり治療盲ひし人の生業を
今日も明日も精出して習えどならぬ悲しさよ

五、生まれつきたる不器用は心こめてもせんもうなや兄弟子たちに叱られて袖に涙のいく月日

六、されどたゆまず怠らず力の限りいそしめば進まぬながら人々のあわれみ日々に加わりぬ

七、手の不器用にひきかえてたぐいまれなる物覚え世の様々の言の葉をきけば忘れぬ不思議さよ

八、夏のある夜は蚊帳の外読みきかざる物語きき落とさじの一念ささるる蚊さえ追いやらず

九、所は江戸の番町で目あきめくらにものをきく歌わるまでも世に広く
(以下不明)

この曲は、サブタイトルに「塙先生の霊に捧ぐ」と付いている。作曲は、**埼玉県師範学校教諭**成澤潤蔵氏、作詞は旧制本庄中学校国語教諭、田口正義氏(傍示堂在住)(内野富夫氏提供)

塙保己一伝

一、神流の流れ 水清く武蔵児玉に のぼり立ち端午の節句に 生を受けその名は幼名 寅之助母の願いの 甲斐もなく七つの年に 目は盲いて闇いばらの 道を行くあゝ人生の 厳しさよ

二、親子の別れ 惜しみつつ江戸へ修行の 独り旅雨富検校 師と仰ぎ願かけ参る 天満宮燃える希望を 杖として耳を頼りに 黙々と塙保己一 学を積むあゝ人生に 花よ咲け

三、般若心経 糧として道を求めて 切り拓き木版群書 類従を此の世に残した 大学者夢を果たせし その姿尊さ頭 傾けて遠き国まで 名を上げるあゝ人生に 輝有り

この曲は、テイチクレコードより発売され、藤田栄が歌っています。内藤福己作詞。相内定道作曲。(市川隆雄氏提供)

【次号に続く】

群読劇塙保己一物語の公演

塙保己一物語劇化実行委員会

市民による手づくりの群読劇で、郷土の塙保己一先生をより身近な偉人として、市民の一人でも多くの方に知っていただこうと、昨年は、児玉文化会館セルディで公演し、超満員の大盛況でした。

今年も、左記の日程で本庄公演を行いますのでご覧ください。
なお、総検校塙保己一先生遺徳顕彰会でも後援をしています。

記

日時 平成29年8月11日
午後6時から
会場 本庄市民文化会館
入場料 一、〇〇〇円



セルディ公演出演者のみなさん